

監護相当・生計費の負担についての確認書

(申立先) 境港市 長 殿

私は、以下に記載する者(注)について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な保護をし、かつ、その生計費を負担していること(以下「監護相当・生計費の負担」という。)を下記のとおり申し立てます。

申請者が真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

請求者・受給者の方が生計費の負担をしている大学生年代の子を記入してください。

※大学生年代・・・平成14年4月2日～平成18年4月1日生まれ

令和6年10月31日までの間にある者のうち、施設等に入所等している者でないもの(詳細は裏面を参照)

記 住民登録をしている住所を記入してください。

ふりがな 氏名		生年月日				住所										
境港 一郎		平成 令和	16	年	8	月	8	日	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地							
個人番号	続柄	職業等(いずれかに○)※			通学先(学生の場合のみ)		卒業予定時期(学生の場合のみ)		申立人による監護相当の状況(いずれかに○)			申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)				
	子	学生・無職・その他			〇〇専門学校		令和	7	年	3	月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()			①生活費(食費、家賃等) ②学費 ③その他()	
ふりがな 氏名		生年月日				住所										
個人番号		職業等(いずれかに○)※			通学先(学生の場合のみ)		卒業予定時期(学生の場合のみ)		申立人による監護相当の状況(いずれかに○)			申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)				
大学生年代の子が就職して収入があるが、生計費を児童手当の請求者も負担している場合は、「その他」に○をしてください。		現時点での卒業予定時期を記入してください。 ※卒業予定時期が22歳到達後の3月以降になる場合でも、加算対象となるのは22歳到達後の3月までです。			申立人による監護相当の状況・申立人による生計費の負担の状況 この2つの状況に、それぞれ当てはまる場合のみ、この確認書の提出ができます。(どちらも必ず1つは○が付く場合のみ加算の対象になります。) ※「3その他」に○の場合は、必ず()に具体的な状況を記入してください。記入がない場合は、確認が必要になります。											
ふりがな 氏名		生年月日				住所										
個人番号		職業等(いずれかに○)※			通学先(学生の場合のみ)		卒業予定時期(学生の場合のみ)		申立人による監護相当の状況(いずれかに○)			申立人による生計費の負担の状況(該当するものすべてに○)				
学生・無職・その他		令和		年	月	日	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他()			1.生活費(食費、家賃等) 2.学費 3.その他()						

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 6年 10月 1日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 境港市上道町3000番地

氏名 境港 太郎

児童手当の請求者・受給者の情報を記入してください。
※子どもの名前や配偶者の名前では受付できません。